

6 設計のポイント

6-1 胴縁の割り付け

■ 胴縁間隔の設定

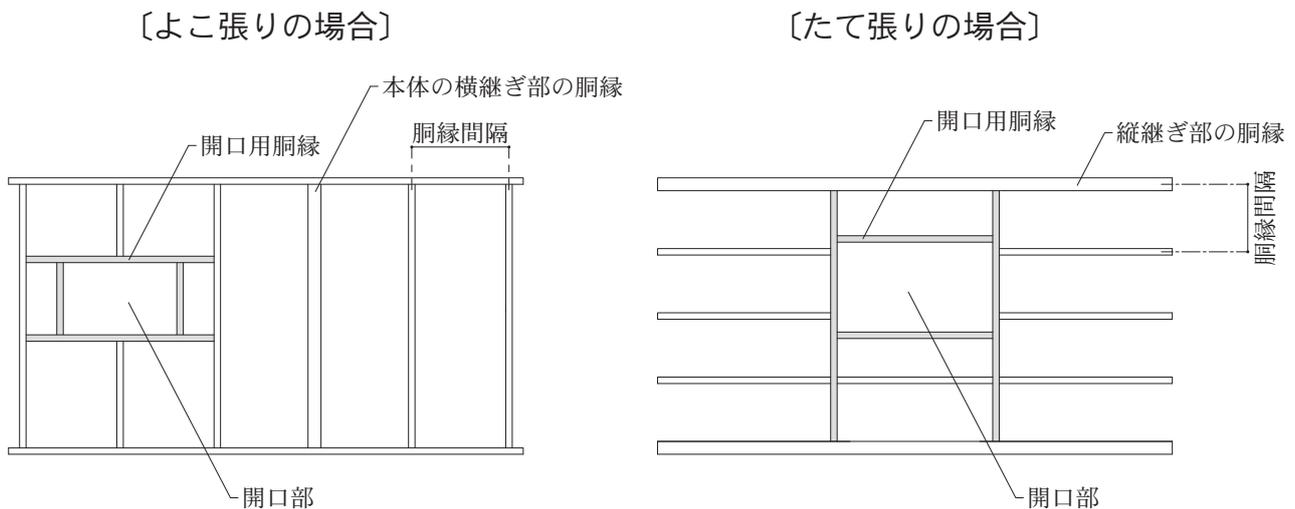
胴縁の間隔は、次の3条件を基に、最も間隔の狭いものに設定してください。

- ・ 防耐火構造認定の胴縁間隔
- ・ 本体の耐風圧強度（風圧力と胴縁間隔のグラフ等）
- ・ 胴縁自体の耐風圧強度（構造計算により算出してください）

■ 胴縁の種類

- ・ 胴縁は、C100×50×20×2.3、□100×100×2.3以上としてください。
- ・ 建物高さ13mを超える部分はキャップ類の脱落防止のため脳天ビス留めが必要になりますので横継ぎ部の胴縁は□100×100×2.3以上としてください。

■ 胴縁の割り付けと開口用胴縁の例



- ・ 光の具合によって、表面のゆがみや下地の跡が強調される場合があります。

■ 異種金属との取り扱い

- ・ ステンレス製の付帯物などの異種金属が直接接触すると電食が起こる場合がありますので、ご注意ください。

■ 付帯物の取り付け

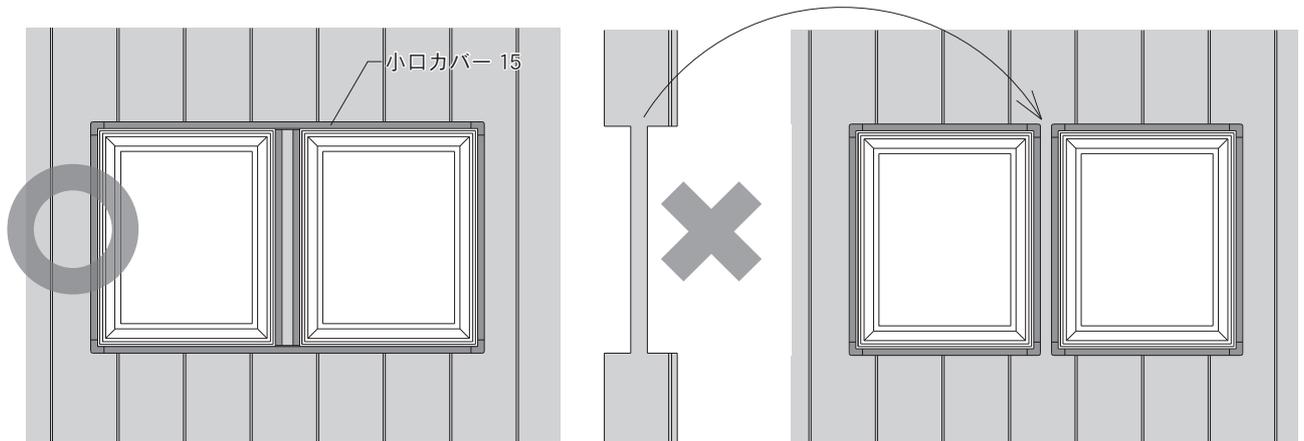
- ・ 庇、フード、看板などの付帯物は、サイディング本体に負担をさせず、躯体鉄骨に負担させるようにしてください。

6-2 割り付けの注意点

■SP-ガルブライト（たて張り）の切り欠き方の制限

- ・1枚の本体の両側を切り欠かないでください。

例えば連窓の場合は連窓上下で縁切りする割り付けにし、本体の両側を切り欠くことがないようにしてください。本体の片側を切り欠く場合も、本体の強度が著しく損なわれるような切り欠きは避けてください。



連窓上下に部材を通して、本体の両側を切り欠かないで施工してください。

本体の両側を切り欠いて施工しないでください。

6-3 取り付け用ビス

■ビス対応表

| 構造 | 用途 | サイディング 本体取り付け | サイディング本体脳天打ち※ 表面部材取り付け |
|---|----|------------------|---------------------------|
| | | サイディングのみ施工 | 4×19以上 |
| サイディング+せっこうボード15mm以上 下張り (防火構造認定) | | 4×30以上 | 4×50以上 |
| サイディング+せっこうボード9.5mm+12.5mm以上 下張り (防耐火構造認定) | | 4×40以上 | 5×60以上 |

- ・ドリルビス（シンワッシャー）を使用してください。

※出隅キャップ、入隅キャップ、止縁キャップの下に隠れる脳天留めビスは、ドリルビス（平頭）を使用してください。

- ・C型鋼を貫通し外壁材を締結する長さのビスが必要です。通気部材を使用する場合は、通気部材の厚さを足した長さのビスを選定してください。一部の防耐火認定では、打ち込み深さの規定があります。

6-4 建物の高さが13m超える部分について

- ・建物の高さが13mを超える部分については、脱落防止のためにキャップ類を脳天ビス留としてください。